

令和6年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		7-	1
事業名	環境衛生経費	会計 一般	款 4	項 1	目 4
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施 策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。 町内における環境測定結果の報告及び「桑名・員弁広域環境基本計画」の内容を協議するため、東員町環境審議会を開催する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	環境活動団体数	47	46	45	団体	↑	50
	2	公共施設のCO <sub>2</sub> 排出量	2,436	2,392	2,591	t-CO <sub>2</sub> /年	↓	2,457
	3							
	4							
	5							
			令和5年度(決算)		令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
全体事業費(千円)			304		694	2,427		
財源内訳	うち一般財源		304		694	2,427		

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅱ 継 続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	今後の環境審議会委員について要検討。専門部会にて参画いただいた企業委員に継続いただきたい。	③取組の課題	特になし
②R6年度に実施した取り組み	環境審議会専門部会は廃止。企業委員は引き続き環境審議会委員として継続いただくこととなった。 地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム(LAPSS)による二酸化炭素排出量算出を開始した。	④今後の改善計画	特になし